

令和7年度 自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰

令和7年11月1日時点

	市町村	氏名	年齢	性別	主要経歴 (下線部が表彰事由となる職)	活動概要
1	米子市	くろだ まさとし 黒田 昌稔	71歳	男	現 <u>米原8区自治会</u> 会長	住民福祉に力を入れて活動を行っており、特に地域の宝である子どもを巻き込んだ地域活動に重点を置き自治会のとりまとめに尽力している。 ※令和4年鳥取県頑張る住民活動知事表彰受賞
2	湯梨浜町	しみず あきと 清水 彰人	71歳	男	現 <u>麻畑区</u> 長	世帯数が減少し、高齢化率が100%となっている限界集落において、町から配布される文書等の配布、区長会を通じた区への連絡など、町と区の連絡調整用務を行い集落機能の維持に大きく貢献している。 ※令和元年鳥取県頑張る住民活動知事表彰受賞

令和7年度頑張る住民自治活動表彰（個人の部）

令和7年11月1日現在

市町村	氏名	年齢	(非表示) 生年月日	性別	主要経歴 (下線部が表彰事由となる職)	在職期間等	活動概要
1 米子市	あししば みちあき 足芝 通秋	75歳	S25.10.14	男	現 <u>河崎地区自治連合会会長</u> 現 河崎地区芝谷自治会会長	連合組織の長7年2月	地域の3大行事を継続して盛大に開催できるよう地域で安心・安全に暮らせるよう住み良い地域づくりを進め、幅広い住民に活動に関心を持ってもらい、参加してもらえるよう取り組みを進めている。さらに戦前から河崎地区に伝わる地区の宝である伝承芸能を未来の子ども達に継承するよう保存会を復活させ運営に尽力した氏の功績は大である。
2 米子市	はなした よしのり 端下 良則	75歳	S25.8.1	男	現 <u>福米西地区下谷4区自治会会長</u>	自治会の長14年8月	地域の行事・環境整備の取り組みに力を入れ取組み、「楽しく地域活動ができるように」をモットーに地道に少しづつ、役員負担も軽減して取組むことを考え改善を進めている。地域の活性化のため多くの人に参加してもらえる活動を工夫を進めることで各自治会の機運も高まり、ひいては自治連合会の強化発展につながっている氏の功績は大である。
3 米子市	ながとう きよし 永東 清	80歳	S20.1.26	男	現 <u>加茂地区加茂1自治会会長</u>	自治会の長14年8月	安心・安全なまちをつくることを目標に環境整備等に力を入れて活動を行っている。また、加茂地区自治連合会会長としても、地域の行事・環境整備・見守り活動の取組みに力を入れ思いやりのある加茂地区となるよう活動をしている。活動の継続は、地域の活性化のため多くの人に参加してもらえるよう活動を工夫して行っていることで各自治会の機運も高まり、ひいては自治連合会の強化発展につながっている氏の功績は大である。
4 倉吉市	さいき ひでひろ 齋木 英宏	83歳	S17.1.26	男	元 <u>宮川町2丁目自治公民館館長</u>	自治会の長14年0月	平成28年10月には、鳥取県中部地震が起きた際、避難所として自治公民館を1ヶ月程度開放し、住民が安心して生活出来る場所を確保した。また、このような活動について同年12月に鳥取看護大学で講演を行うなど安心安全な生活環境の向上に取り組んだ氏の功績は大である。
5 倉吉市	やまおか しげたか 山岡 重隆	67歳	S33.1.1	男	元 <u>棕波自治公民館館長</u>	自治会の長12年0月	令和3年4月に、自主防災組織を設立したうえ、それまで土砂崩れが起きた際、避難所が地域外にあることから住民が孤立してしまっていたが、同年7月に地域内に避難所を開設し、住民が安心して避難できる環境を提供した。このように、地域に住むすべての人が安心して暮らすことのできるまちづくりに貢献してきた氏の功績は大である。
6 境港市	みよし しんさく 三好 伸作	77歳	S22.11.7	男	元 <u>外江地区自治連合会会長</u> 元 外江6区自治会会長	連合組織の長8年1月	自治会を持続可能な組織とするために地区内の小規模自治会合併を進め、令和2年度に12自治会を9自治会に再編した。また、コロナ禍において、対面での会議が困難な中でも市長と各地区連合会会長による懇談会を開催し、市政に対する意見交換の機会を継続させるなど、環境意識の強化、住民の交流促進および高齢者福祉の充実などが進んだことから氏の功績は大である。
7 境港市	おおにし きいちろう 大西 毅一郎	80歳	S20.9.21	男	元 <u>上道地区自治連合会会長</u> 元 上道町4区自治会会長	連合組織の長7年0月	境港市の原子力防災訓練に積極的に協力して、地区住民の防災意識の高揚に努めた。また、上道地区内で後鳥羽上皇が立ち寄ったとされる「皇の松伝承地」を後世に伝えるため、「皇の松まつり」の開催に携わるなど伝承文化の継承に努めるなど、環境意識の強化、地域の交流活動の推進および高齢者福祉の充実など進んだことから氏の功績は大である。

市町村	団体名	団体の功績		地域の概要	
		概要	活動の特色		
1 鳥取市	まつほ 松保地域づくり協議会	団体の設立当初から「防災フェスタ」を毎年開催し、継続して地区住民の防災意識の向上に務めてきた。令和3年度には、地区として独自に「松保地区災害対策本部設置要綱」を策定し、災害発生時に地区内の各種団体及び各集落が地域ぐるみで災害対応に当たる体制を整備し、この体制に基づいて、松保ちいきづくり協議会が中心となって、地区自主防災会連絡協議会及び区長協議会と連携して地区全体で避難訓練に取り組んでいる。		○地域ぐるみでの防災活動の取組 団体が中心となって防災フェスタや大規模避難訓練を通じて地域の防災力向上に取り組んでいる。「松保地区災害対策本部」を中心に、各団体が連携し役割分担を明確化し、台風災害時の経験を踏まえ、住民主体で避難所運営訓練など実践的な活動を行っている。	松保地区は、鳥取駅より南西約5キロの位置にあり、16集落から成り立っている。地区の西側は日本最大の池である湖山池に隣接しており、中世時代には、因幡国守護山名氏が守護所を置いた天神山城が近くにあったことから、政治の中心地として栄えた、自然豊かな歴史のある地域である。
		代表者氏名	たけうち ふさお 竹内 房男		
		団体要件	住民自治組織の連合組織		
		団体規模	3,725名(1,675世帯)		
2 米子市	ばくろうまち 博労町2丁目自治会	地域の繋がりがづくりを目的として、毎年、子供たちが夏休みに入った頃、楽しみもプラスした防災訓練・夕涼み会を実施している。また、10月の中旬には、地域の広場で独自の運動会を実施しており、この2つの取り組みは、地域住民とのふれあい、助け合い、また活性化を目指す事業として力をいれて活動している。		○触れ合い活性化の取組み 東日本大震災を契機に防災意識を高め、地域独自の防災活動を展開している。平成27年に「博2防災会」を結成し、青年部・婦人部を中心に防災資機材を整備し、第1回避難訓練を実施。現在は「博2ふれあい防災訓練&夕涼み会」として子どもから高齢者まで楽しく学べる地域行事へ発展した。また、「博2ふれあい運動会」などを通して住民の交流と地域の活性化を推進している。人と人とのつながりを重視し、安心・安全で次世代に誇れる地域づくりを目指している。	博労町2丁目自治会は、JR米子駅の東方800mあたりに位置し、JR境線の博労町駅から県立米子東高校のグラウンドまでの間にあり、自治会の真ん中には古くから地域に親しまれている勝田神社がある。また、米子城主・荒尾家の菩提樹である了春寺や法城寺もある地域である。かつては勝田神社の参詣と国道9号として栄え人と車の往来で大変にぎやかな町であった。
		代表者氏名	なかむら よしのり 中村 吉範		
		団体要件	住民自治組織		
		団体規模	237名(105世帯)		
3 倉吉市	かなや 金谷自治公民館	毎年10月頃に、関金町の三社（日吉神社、湯の関神社、大鳥居神社）で地域文化を祝う祭りとして例大祭を執り行う。三社の内の一つである日吉神社は金谷地域に位置し、集落全体で子どもから大人までが参加し、大名行列を模した行列が行われる。		○地域文化を祝う例大祭の開催 起源は江戸時代後期の天明年間（1781～1788）に遡るといわれ、長い歴史を持つ祭りである。人口が減少している中、隣の集落へ参加の協力依頼をすることや、県外など地元から出ている集落出身の方への呼びかけ、商売している方と連携し、にぎわいある祭りをつくっている。また、県や市、町から出ている住民が地元に戻るきっかけとなっている。また、以前は、男性の参加者が多かったが、現在は、中高生などの女性が笛や太鼓を叩き、男性が神輿を担当するなど女性も参加しやすい祭りを築いている。	金谷地域は、倉吉市関金町の北部に位置し、小鴨川に隣接しており平坦な農地が広がっている。水稲・大豆・飼料作物を中心とした農業を行っている。この地名は中世の時代に鋳物師などの金物集団が集まり住んだところであると言われており、鉄生産と関わりが深い地域であった。
		代表者氏名	おおもり あきお 大森 章央		
		団体要件	住民自治組織		
		団体規模	138名(63世帯)		